

顔付け・就労実態調査に協力を！

釜ヶ崎・顔付け一暴行に対する抗議事件救援会

今年の七月三日、朝のセンターで林建設の車が燃え、手配師と古株の世話役の二人がヤケドを負ったという「事件」のあったことは、すでに知っていることと思います。

そして、そのような「事件」がおこった原因が、顔付け手配に抗議した井上さんに対しての手配師の暴行にあることも、ご存じのことだと思います。

ガソリンを掛け、火をつけた和田さんと井上さんは逮捕され、現在、大阪地方裁判所で裁判がおこなわれています。

和田さんと井上さんのおこった行為については、「よくやった」というものから、「ちょっとやりすぎちゃうか」というものまで、各人各様の考え方があろうと思えますが、多分、共通して抱くのは、「そうしなくなった気持ちにはよくわかる」という感情ではないでしょうか。

そのような共感を抱くのは、釜ヶ崎で働き、アブレで苦勞している同じ日雇労働者だからこそと思います。

しかし、和田さんと井上さんを裁く裁判官や世間の人々は、そのような共感を持っていないでしょう。そうすると、和田さんと井上さんは、「事件」の上っ面だけで裁かれ、重罰を科せられる恐れがあることになりました。

また、今回の「事件」の原因は、釜ヶ崎に仕事が極端に少なくなくなっているにもかかわらず、なんの対策も打ち出さず、従来どおりの「相対方式」という「大失出・手配師」依存の就労方法を野放しにしていた大阪府労働部の無策にも、あるといえます。大阪府労働部は、無策を反省するどころか、「釜ヶ崎の高齢者は月に一四日一七日働いている」というサギ的な情報を新聞を使って流し、釜ヶ崎の困難な状況から世間の目をそらすとする悪質な情報操作をおこなっていました。

そこで、私たちは、裁判官や世間の人に釜ヶ崎の現在の姿を伝え、また、大阪府労働部のウソを打ち破るために、『顔付け実態調査』をおこなうことにしました。ご協力をお願いします。